

報道関係者各位

2019年8月2日

株式会社アマナ

日本最大級のものづくりの祭典「Maker Faire Tokyo 2019」に
共同で“未来のコミュニケーションデバイス”を出展
～網膜走査型レーザディスプレイのUI デザインにアマナが協力～

さまざまなビジュアルコミュニケーション事業を展開するアマナグループの株式会社アマナデザイン（本社：東京都品川区、代表取締役社長：澤 幸宏）はこの度、東京ビッグサイトにて開催される「[Maker Faire Tokyo 2019](#)」に、株式会社 QD レーザ、ソフトバンク株式会社と3社合同で、音声認識と両眼網膜投影技術を組み合わせた、“未来のコミュニケーションデバイス”の試作品を出展します。



今回、アマナデザインのプロトタイピング・ラボラトリー「FIGLAB」では「網膜走査型レーザディスプレイ」のデバイス内に表示されるUIデザインの制作協力を行いました。音声を文字化するだけでなく、画像とリンクすることで可視化し、直感的にコミュニケーションをすることを目指した“未来のコミュニケーションデバイス”を、できるだけ多くの方にご体感いただければと考えています。

▼企画展概要

「Maker Faire Tokyo 2019」

<https://makezine.jp/event/mft2019/>

- 会 期 : 2019年8月3日(土)～4日(日)
時 間 : 8月3日(12:00～19:00) / 8月4日(10:00～18:00)
会 場 : 東京ビッグサイト 西3、4ホール [スペース No.: I/11-01]
住 所 : 東京都江東区有明3-11-1 (<http://www.bigsight.jp/access/transportation/>)
入場料 : [当日] 大人 1,500円、18歳以下 700円
共同出品 : ・株式会社 QD レーザー (<https://www.qdlaser.com/news/355/>)
・ソフトバンク株式会社 (<https://www.softbank.jp/corp/aboutus/profile/>)

▼「FIGLAB (フィグラボ)」とは

<http://figlab.jp/>

新しい技術を使い、「手を動かしながら考える」ことで、アイデアを即座に具現化・視覚化し、より高いレベルでの課題解決を目指すアマナのビジュアル・コミュニケーションテクノロジーを追求するプロトタイピング・ラボラトリー。オープンイノベーションの場として、映像/グラフィック/エンジニアリングなど多様な分野とコラボレーションし、あらたな表現と価値を生み出している。主にイベント・広告領域で活動。

～「ビジュアルコミュニケーションで世界を豊かにする。」アマナは今年、40周年を迎えました～

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社アマナ コーポレートコミュニケーション室 担当：高柳／住永

TEL：03-3740-3500 MAIL：pr@amana.jp

株式会社アマナ 会社概要

代 表 者 : 代表取締役社長 進藤博信
所 在 地 : 東京都品川区東品川 2-2-43
設 立 : 1979 年 4 月
資 本 金 : 10 億 9,714 万円
証 券 コ ー ド : 東証マザーズ 2402
a 売 上 高 : (連結) 222 億 90 百万円 ※2018 年度 12 月期実績
従 業 員 数 : (連結) 1,022 名 ※2019 年 1 月 1 日現在
事 業 内 容 : ビジュアルコミュニケーション事業
U R L : <https://amana.jp/>

株式会社アマナデザイン 会社概要

代 表 者 : 代表取締役社長 澤幸宏
所 在 地 : 東京都品川区東品川 2-2-43
設 立 : 2014 年 1 月
事 業 内 容 : ビジュアルコミュニケーションの企画、デザイン